

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②廃棄物発生量
  - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし
- ③処理水タンク貯蔵量
  - ・淡水化装置(RO方式)による処理により、処理後の淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ④5, 6号機滞留水貯蔵量
  - ・構内散水によりF・Hエリアタンク貯蔵量は変動あり

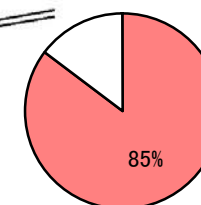
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,900m <sup>3</sup>	OP.2,784
2号機	約22,100m <sup>3</sup>	OP.3,074
3号機	約23,400m <sup>3</sup>	OP.3,009
4号機	約17,900m <sup>3</sup>	OP.2,986
合計	約77,300m <sup>3</sup>	

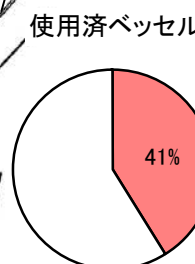
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約13,550m <sup>3</sup>	OP.3,631
高温焼却炉建屋	約3,660m <sup>3</sup>	OP.2,449
合計	約17,210m <sup>3</sup>	

②廃棄物発生量

廃スラッジ

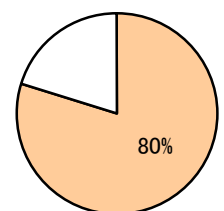


保管量:597/700[m3] ※3



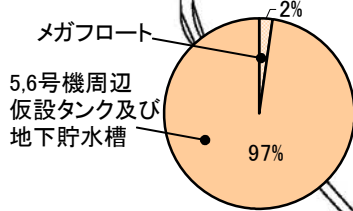
保管量:468/1137体 ※1

F・Hエリアタンク



水量:11100/13900[m3] ※2,3,4

メガフロート



水量:7995/8000[m3] ※2,3,5

④5, 6号機滞留水貯蔵量

- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセルを含む
- ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
- ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す  
(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てして表記)
- ※4 Hエリアの増設タンクのうち、3千トン分を5,6号機滞留水用に使用
- ※5 12月16日、メガフロートから5,6号機周辺仮設タンク及び地下貯水槽への移送終了

③処理水タンク貯蔵量

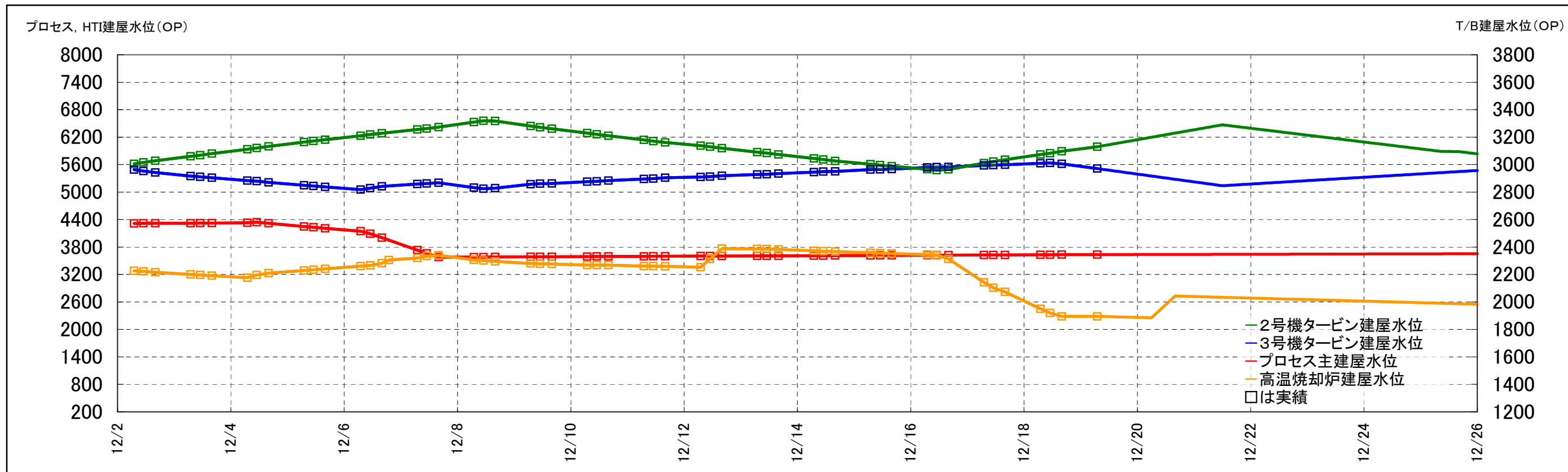
水量:24541/31400[m3] ※2,3

水量:5513/9500[m3] ※2,3

水量:210244/220500[m3] ※2,3

	中低レベル(既設)
	中低レベル(追設予定)
	高レベル(既設)
	高レベル(追設予定)
	移送ホース布設ルート
	淡水注水ルート

2, 3号機タービン建屋及びプロセス主建屋, 高温焼却炉建屋の水位グラフ



処理装置の稼働状況

